

健和会病院の急性期病床削減について

社会医療法人健和会
健和会病院
院長 和田 浩

1. 目的

1) 現状の役割

1973年和田病院として開業。1983年に医療法人健和会健和会病院となり2022年9月現在、高度急性期4床、急性期78床、回復期83床、慢性期33床、合計199床のケアミックス病院として地域医療の一旦を担っている。飯伊医療圏の中で一次・二次救急を担っており、2021年の救急車受入台数は6309台中645台であり、1割強を担っている。

また、三次救急を受け入れる市立病院の急性期病床をサポートするポストアキュート機能と在宅患者の受入を行うサブアキュート機能として地域包括ケア病棟を最大限に活用し、介護施設などとも連携した医療を提供している。

リハビリ分野では通所から訪問、そして入院の回復期病棟を有しており、切れ目のないリハビリを提供している。回復期リハビリテーション病棟では重度者を積極的に受入ながら摂食嚥下をはじめとして、高い機能回復が見込まれるリハビリテーションを提供している。

療養病棟では、医療度の高い患者、社会的ケアが必要な患者などの入院を定期的に受入、在宅ケアのサポートを行っている。

透析医療においては、現在80床運用を行っており、透析患者数は県下有数であり、飯伊圏域で当院の透析管理患者数は約4割を占めている。

2) 削減理由

- 人口が減少し、医療需要も全国や県内と比べ大きく下がる事が予測される。
- 地域包括ケアや回復期リハなどのポストアキュート機能を強化する

3) 削減後の役割

急性期医療を引き続き担う。病床削減を行った分在宅医療への展開、強化を図る。飯伊圏域内の基幹病院として他病院と連携をした回復期病棟の受入などケアミックス型病院としての機能をより一層発揮する。

2. 病床増減

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
変更前	5	78	83	33	199
変更後	4	60	89	36	189

3. 病床削減実施日

2022年10月1日

4. 病床機能再編支援事業の活用

今般の病床計画は、国が地域医療構想の実現に向けた財政支援策として措置した病床機能再編支援事業を活用する予定である。

以上